

## 中国最強の超人 馬岳梁

馬岳梁という名を初めて聞いたのは、1982年頃、中国武術家の松田隆智先生からだ。当時、松田先生から八極拳や陳式太極拳を学んでいた私は、中国最強と言われる太極拳家に、一緒に学びに行こう、と松田先生から誘われたのだ。武術関係者や、他派の太極拳家に聞いても、馬岳梁という名が挙がる。呉式太極拳とはそれほど強いのか？ 結局、当時は中国から許可が下りず、学習はかなわなかったが、その謎は数十年後、馬岳梁師に子供の頃から学び、その技術を全て受け継いだ沈剛先生と出会うことで、解けた。呉式太極拳は、他派にはない独特の身体操作と、多様な推手(すいしゅ)と言われる対練で、徹底して相手の隙をつき、崩す。まさに柔よく剛を制す練習を徹底して行うのだ。馬岳梁師は、呉式太極拳の実質的な開祖、呉鑑泉からその技術を学び、上海という都会で新興の太極拳を爆発的に広めた実戦名人である。全ての挑戦者に対して、自分から攻めず、相手の力を利用して一瞬で跳ね飛ばす。伝説の太極拳の闘い方の実戦性を証明し続けた。その強さは歳を経ても衰えず、多くの太極拳家から尊敬され、教えを請われた。98年に他界されたが、上海では息子さんが「鑑泉太極拳社」を引き継ぎ、日本では沈剛先生が、「呉式太極拳研究会」を主催し、馬岳梁師の技術を正確に伝承し続けている。

文／山田英司



馬岳梁(ま・がくりょう)  
1901年生まれ。幼い頃から拳法の実力者であったが、太極拳の達人・呉鑑泉と闘い、完敗したことから弟子入りし、太極拳を学ぶ。その後、修行を積み、中国国民党の蒋介石が弟子入りを希望するほどの中国武術の第一人者となる。第二次大戦後、上海で呉式太極拳を教える馬岳梁のもとに多くの挑戦者が訪れたが、皆なす術もなく撃退されたという。1998年、98歳で天寿をまっとう。



超人・馬岳梁の弟子

# 沈剛 & 山田英司

武術界の怪人

## あのザンス山田が断言! 「太極拳が最強!」

聞き手／谷川貞治 合いの手／山口日昇

永遠のロマン「超人追求」を求めらる中で、我々は人口13億人、4000年の歴史を誇る中国最強の男、中国の超人はどんな人間なのかに興味を持った。こういときは武術評論家のザンス山田こと、山田英司『BUDO-RA BOOKS』編集長に聞くのが一番。すると山田氏曰く中国で一番強いと言われた超人は「馬岳梁」なる人物で、その直弟子が日本で太極拳を教えているというではないか。直弟子の名前は沈剛。さっそく沈剛先生を呼んでもらい、山田氏と一緒に話を聞いてみた。